

令和2年度 薬剤師会との交流会 開催レポート

◇開催日時 令和2年9月25日 13:00~14:40

1 講演：『在宅医療の実際』 講師：浅井 里早氏（オリーブ薬局竹の山店）

2 意見交換会：① 薬剤師さんへの質問 ② ケアマネさんへの質問

意見交換会参加者：長谷川 清氏（コスモス調剤薬局）

森 道成氏（オリーブ薬局竹の山店）

浅井 里早氏（オリーブ薬局竹の山店）

横山 英治氏（東部包括支援センター）

中垣内 博喜氏（マリオネット居宅介護支援事業所）

早川 志信氏（梅森介護相談センター）

◇意見交換会内容

薬剤師さんへの質問

* 居宅療養管理指導でどこまでやってもらえるの？利用者さんにとってのメリットは？

- ・薬がきちんと飲めない方、独居や家族がいても自身が納得しないと飲まないとか剤形的に飲めないとか、とにかく飲まないと効果が出ないので介入します。

服薬できているか確認、副作用のフォロー、薬剤服用歴管理指導をきちんと残し主治医との連携をとるなど細やかに面倒を見させていただきます。

その他、環境整備や衛生面のチェック、おむつ補助のアドバイスなども行います。

- ・1回/2wで管理できますか？

困り具合とか…主治医の処方は1/2w~4wの事が多い。実際は1/wで関わることはできます。

様子を見に行く、薬のセットに行くなどできるがお金の出費になるので関わる事が出来ない人もでてきますが逆もあります。訪問看護と1wずつ協力して入り連携を取ったりもします。

- ・基本的に2回/Mですか？

決まっているわけではないです。ケアプランにより1/wから関わられます。

緊急時のイレギュラーの訪問もあります。

* 残薬の取り扱いについて教えてください。

- ・古いものは廃棄します。分包したものは空気に触れているので期限が短いです。

新しい薬は主治医と相談して調整します。

- ・それは居宅療養管理指導で入っている人ですか？

そうです。

- ・居宅療養管理指導で入っていない人は？
ケアマネより相談があったら応じます。

*数年、交流会を行っていますがケアマネと連携がとれていると感じますか？

- ・感じ方は在宅への取り組み具合によっても違うと思うし人それぞれかもしれない。
自分自身は身近に感じています。

日進市も高齢者が増加し包括ケアの構築に取りかからないといけない。交流会を定期的に行うことで自然に連携が取れるようになる。定期的に良い事例報告など行うことが大切。

- ・TELでのやりとりが多いですか？
ヘルピーネットが使いきれしていない。
うまく使えば便利だと思うがTELやFAXが多い。
- ・薬剤師さんへTELをかける時都合の良い時間を教えてください。
12:30~15:30だと連絡が取りやすいです。
- ・逆にケアマネさんにTELをかける時都合の良い時間はありますか？
訪問に出ることがあるので… 連絡をもらったら必ず折り返します。
朝 早い時間、昼休憩の時、夕方くらいだと連絡が付きやすいです。
- ・ヘルピーネットでの連絡事例はありますか？
ないです。

ケアマネさんへの質問

*薬剤師でケアマネもやっている人が薬局に2人いるが、そこからのやり取りは情報が多く楽です。

ケースの変化等連絡取りやすい。その他は密な連絡は取れていなく報告書は出していますが…

薬剤師とケアマネもやっている人から報告書をくれない薬局もあると聞くが、実際報告書は見にくいですか？必要な情報が伝わっていますか？薬局によって差はありますか？重要ですか？報告書に関して要望とかありますか？

- ・報告書が見にくいとは思っていません。
報告をもらい最低限連携が取れているという認識。
異常時等、連絡ができるという強みもあり安心感があります。
- ・報告書はしっかり頂いている。内容は薬剤師からの視点と薬剤師と利用者さんとの関わりの中での情報が得られ助かっています。
- ・薬剤師に薬を配達してもらっていると家族から聞くが配達だけ？居宅療養管理指導は取っているのか不明瞭な方もいます。

配達だけだと報告書は出さないからわからないと思います。

報告がないと連絡を取り合ってやり取りすることもないし連絡も取りにくいです。

- ・お金が気になってサービスを受けられないとかありますか？

自分の担当者にはいないです。金額とやってもらえることでの説明が不十分なのか、そこでしりごみする方はいます。やってもらえることの内容を具体的に説明できていない。

500円くらいかかるので、配達料で500円も…と。それよりもっと、メリットとかを説明してもらえると良いのですが。

- ・居宅療養管理指導の中でオムツも届けますよと言う話がありました。

処方箋の提案とか体調やバイタルチェックをしてもらえるとか聞いたことがあります。具体的にどうですか？

薬局によって、人によってだと思いますが、利用者さんによって必要性を感じたらサチュレーションや血圧を測ったり、簡易血糖測定だと薬剤師は行うことができませんが利用者さんが行うことの手助けをしたり…必要に応じてやらせて頂きますという感じです。ただ、やりたくてもできないこと、やってはいけないこともあることをご理解いただきたい。

- * 薬剤師に関する情報をケアマネが得る手段として、紙媒体とかネットとかどれが望ましいですか？

- ・今はネット環境が整ってきてホームページなど利用される方が多いです。

以前の交流会の時にも冊子を作成して頂いて利用者さんに紹介させてもらっています。

持病を持っている方が多いので、かかりつけの薬局がある方がいます。

新たに薬局を検討する場合は多くはないですが、地域のデータが閲覧できるものがあれば良いですね。

- ・周知がなかなかできていませんが、ヘルピーネットのホームページ右下に小さく載っているのでもそこから検索は可能です。また、やまびこ日進と協力して窓口を作りたいと考えています。
- ・冊子はどこの薬局でもお渡しできるようにしておきますのでご利用ください。

- * コロナで大変ですが苦労されている事はどんな事でしょう？

- ・訪問しての相談ですが2件続けての訪問は避けています。一旦事業所に戻り手洗いうがいをして感染予防に気をつけています。消毒薬も持ち歩いています。

- ・状態の変わらない方は玄関先で状態確認し短時間での対応を心がけています。

- ・包括支援センターは新規で一番最初に相談窓口になるので、施設に併設されていることもあり施設に来ていただいている相談には制限があります。できるだけ訪問させて

いただいて相談となります。できるだけ手短かに消毒もきちんとと言う意識です。

- ・ コロナウイルス感染対策への意識の高い方と低い方がいて、自衛という意味も込めて個別の対応がせまられているところが大変です。意識の高い方にはしっかり消毒をして、意識の低い方はマスクなしで大きな声で近くで話されるため、自衛でフェイスシールドを着用しますが距離感からクレーム？など考えたり精神的な部分が大変です。なるべく通気の良い環境で相談する事を心がけています。



これからも連携がとりやすい関係を作っていけるように
交流会を続けましょう！

やまびこ日進